

株式会社アイケイ  
2020年5月期 第1四半期決算（連結）  
補足説明資料

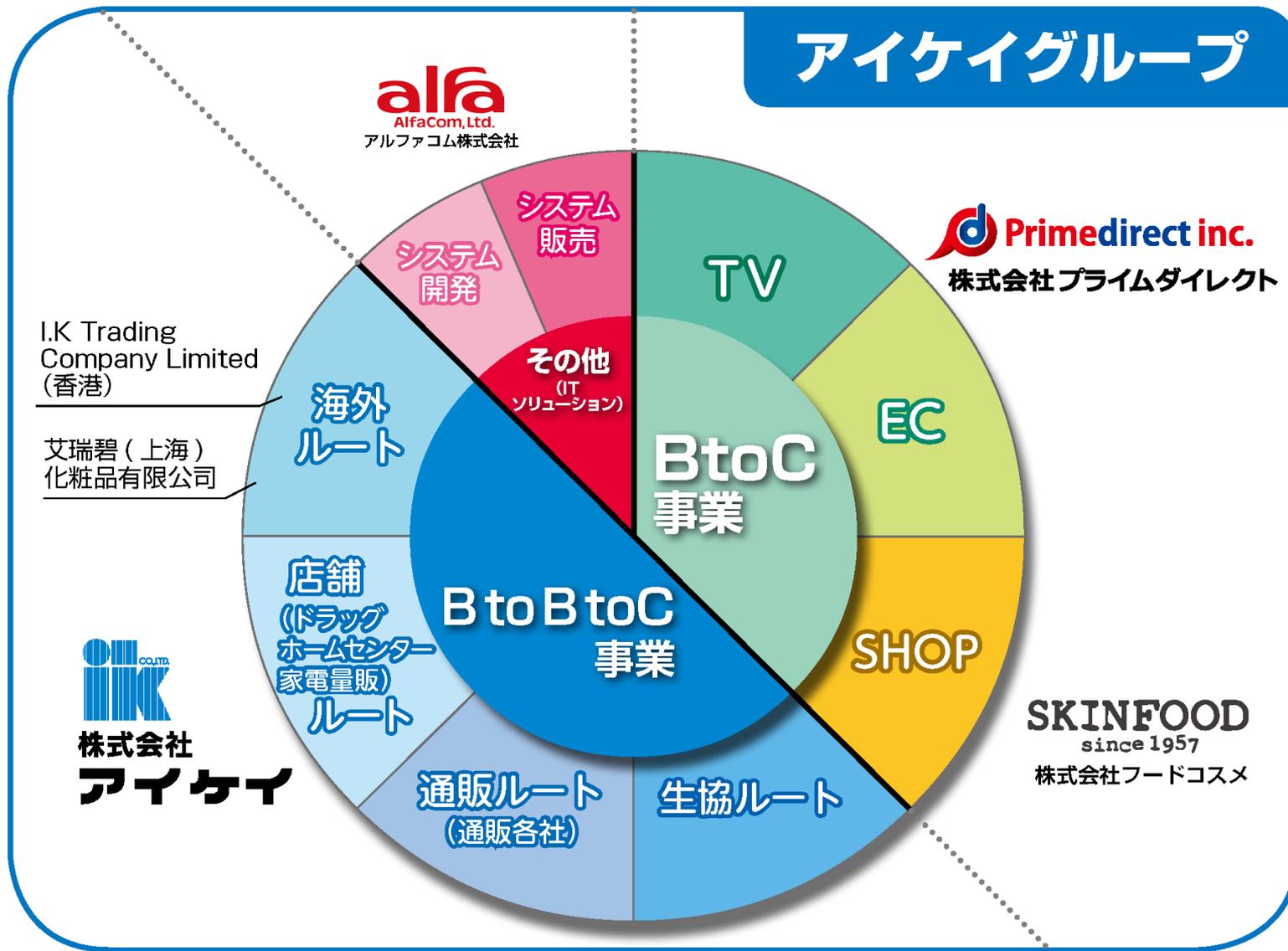
（東証2部・名証2部：2722）

# 2020年5月期 第1四半期決算実績（連結）

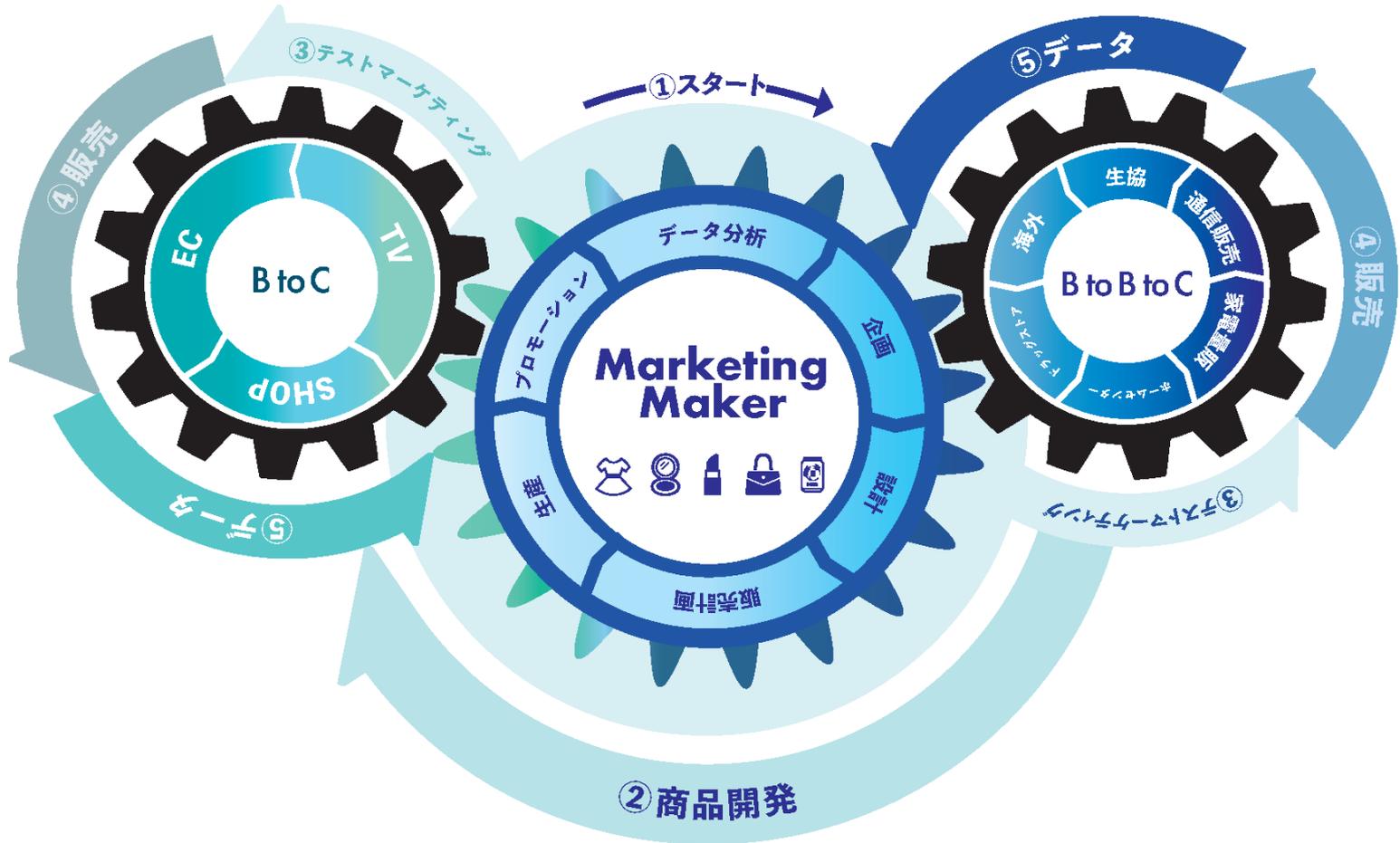
2020年5月期 通期業績予想（連結） P.11

ご参考 P.13

# 当社グループの事業系統図



# 当社グループのビジネスモデル = マーケティングメーカー



アイケイは独自のプロモーション戦略で、商品の**企画・製造・販売・物流**を  
 自社で一貫して行う**マーケティングメーカー**です

# 2020年5月期 第1四半期決算の総括(ハイライト情報)

(単位：百万円、%)

	前1Q 実績	当1Q 実績	前期比	主な要因
売上高	4,790	3,846	80.3	前第1Qと比較して主力のBtoBtoC事業で39百万円の減収、BtoC事業で902百万円の減収、その他で2百万円の減収となり、全体では944百万円減収し売上高は3,846百万円となりました。
営業利益	61	△49	—	売上総利益率は一部存在していた過剰在庫を一掃するため、値下げ販売等を行いましたことから、前第1Qより0.9ポイント下がり45.8%となりました。また、役員退職慰労金制度の廃止に伴い、加算功労金26百万円を確定債務として販管費に計上したことから、営業利益は110百万円減の△49百万円となりました。
経常利益	66	△54	—	経常利益も営業利益同様に121百万円減少し、△54百万円となりました。
親会社株主に 帰属する四 半期純利益	38	△38	—	親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第1Qより77百万円減の△38百万円となりました。

# セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	前1Q 売上高	当1Q 売上高	構成比	前期比	要 因
B to C 事業	2,124	1,222	31.8	57.5	WEB・TVショッピングでの売上が734百万円減少し、BtoC事業全体では902百万円の減収となりました。
B to B to C 事業	2,613	2,574	66.9	98.5	BtoBtoC事業では生協ルート、店舗ルート、海外ルートで前第1Qと比較して増収したものの、通信販売ルートで減収となり、全体では39百万円減収いたしました。
その他	52	49	1.3	94.6	主力商品のVoistore（通話録音システム）の売上が伸び悩み、売上高は2百万円減収いたしました。
合 計	4,790	3,846	100.0	80.3	

(注) なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、本資料内の前年四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

# セグメント別営業利益

(単位：百万円、%)

	前第1Q 営業利益	当第1Q 営業利益	営業利益率	前期比
B to C 事業	31	11	0.9	35.4
B to B to C 事業	34	△44	—	—
その他	△8	△11	—	—
合 計	61	△49	—	—

(注) セグメント利益の調整額が前第1Qでは2百万円、当第1Qでは△5百万円あります。

## 主要経営指標

	2019年5月期 第1Q実績	2020年5月期 第1Q実績
売上高総利益率 (%)	46.7	45.8
営業利益率 (%)	1.3	—
経常利益率 (%)	1.4	—

# 主要販管費

(単位：百万円、%)

	2019年5月期第1Q実績		2020年5月期第1Q実績	
	金額	売上比	金額	売上比
人件費	384	8.0	379	9.9
広告宣伝費	1,059	22.1	711	18.5
荷造運賃	289	6.0	263	6.8
販管費合計	2,176	45.4	1,810	47.1

運送費の高騰により荷造運賃費の売上比率が前第1Qと比較して0.8ポイント増加しましたが。TVショッピングでの広告宣伝を効率的に行うことで広告宣伝費比率は前第1Qと比較して3.6ポイント改善いたしました。これらにより販管費の実額は前第1Qより366百万円減少しましたが、売上高が19.7%減少したため販管費合計の売上比率は前第1Qと比較して1.7ポイント増加いたしました。

# 財政の概要

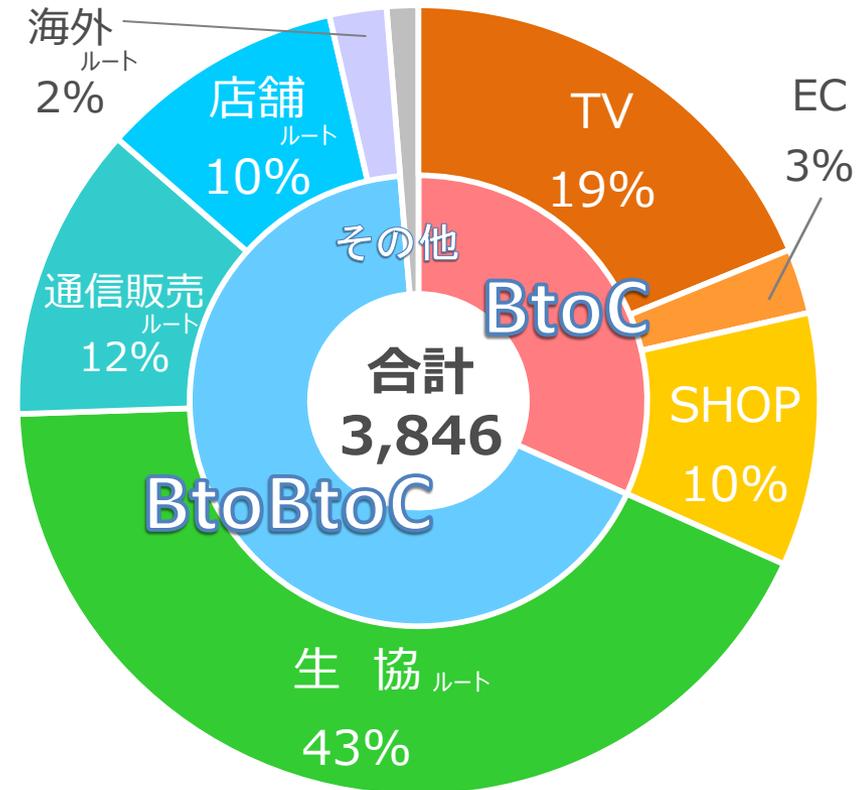
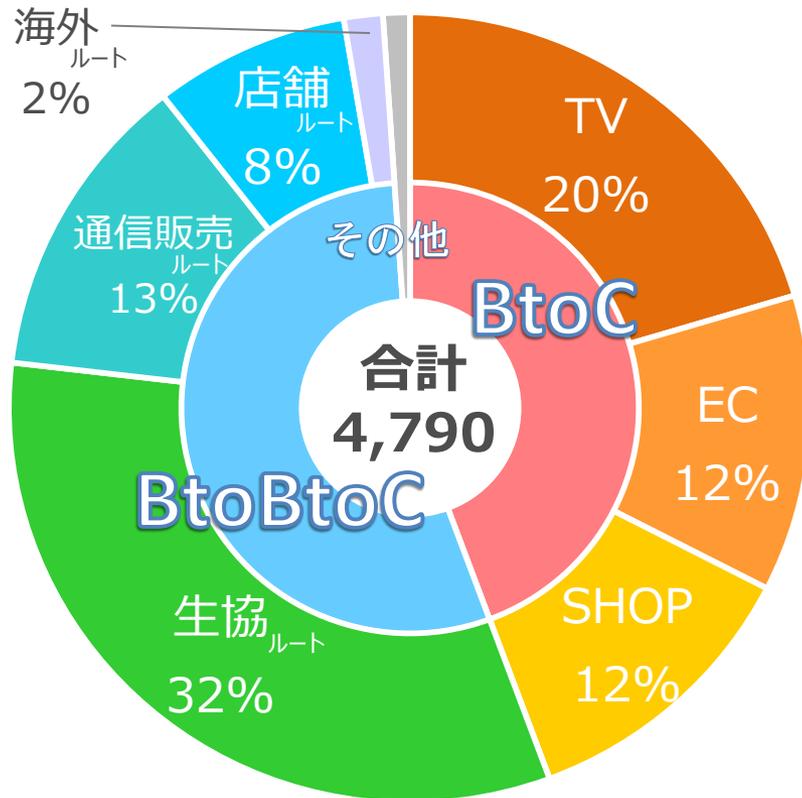
	2019年5月期 第1Q実績	2020年5月期 第1Q実績
総資産（百万円）	6,591	6,788
純資産（百万円）	2,488	2,514
自己資本比率（%）	37.7	37.0
1株当たり純資産（円）	332.79	336.35
1株当たり四半期純利益 及び四半期純損失（円）	5.15	△5.20

# 販路別売上内訳

2019年5月期 第1Q

2020年5月期 第1Q

(単位：百万円)



2020年5月期 第1四半期決算実績（連結） P.1

## 2020年5月期 通期業績予想（連結）

ご参考

P.13

# 業績予想



(単位：百万円、%)

	2019年5月期 通期 (実績)			2020年5月期 通期 (予想)		
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比
売上高	17,614	100.0	96.1	16,946	100.0	96.2
営業利益	431	2.5	48.1	577	3.4	133.6
経常利益	437	2.5	48.7	585	3.5	133.6
親会社株主に帰属する当期純利益	238	1.4	37.1	402	2.4	168.8
1株当たり配当金	12円			12円		

2020年5月期 第1四半期決算実績（連結） P.1

2020年5月期 通期業績予想（連結） P.11

## ご参考

## 株式会社アイケイ

- 本社 : 名古屋市中村区名駅三丁目26番8号 KDX名古屋駅前ビル5F
- 代表者 : 代表取締役会長 飯田 裕、代表取締役社長 長野 庄吾
- 設立 : 1982年5月1日
- 資本金 : 401百万円
- 連結売上高 : 17,614百万円 (2019年5月期)
- 連結経常利益 : 437百万円 (2019年5月期)
- 連結総資産 : 6,818百万円 (2019年5月期)
- 連結純資産 : 2,688百万円 (2019年5月期)
- 従業員 : 291名 (2019年5月期 連結)
- 上場市場 : 東京証券取引所市場第二部・名古屋証券取引所市場第二部  
証券コード : 2722

- 1982年 5月：アイケイ商事有限会社を設立
- 1983年 4月：愛知県生活協同組合連合会との取引を開始
- 1991年 4月：有限会社から株式会社へ組織変更 社名を株式会社アイケイに変更
- 2001年12月：JASDAQ上場
- 2005年12月：プライベートブランド「ローカロ生活」販売開始
- 2009年 6月：株式会社フードコスメ（現100%子会社）を設立
- 2010年12月：アルファコム株式会社の株式取得（100%子会社）
- 2013年 2月：プライベートブランド化粧品「LB」販売開始
- 2014年 9月：株式会社プライムダイレクトの株式取得（100%子会社化）
- 2017年 8月：I.K Trading Company Limited（100%子会社）設立
- 10月：艾瑞碧(上海)化粧品有限公司（間接所有60%）設立
- 2018年 2月：東京証券取引所(市場第二部)市場変更、名古屋証券取引所(市場第二部)上場
- 5月：グレースヤス株式会社の株式取得(100%子会社)
- 2019年 9月：グレースヤス株式会社を吸収合併

# 自社開発商品（化粧品）



< LB >



< B!FREE+ >



< intima >



< SKINFOOD >

# 自社開発商品（雑貨品）



< バタフライアブス DT >



< ステップ8 >



< LOCOX >



< スピードヒートベスト >

# 自社開発商品（食品）



< 熟成黒にんにく >



< はとむぎエキス >



< ローカロ生活 >



< プロシア8 >